

単位区符号	市町村番号	地点番号	世帯番号	
				1 農林漁家
				2 非農林漁家
調査開始年月 平成 年 月			調査員氏名	

総務省統計局

この調査は、総務省統計局が(一社)新情報センターに委託して実施する統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをご記入ください。

調査実施:(一社)新情報センター  
住所:東京都渋谷区恵比寿1-19-15  
電話: 0120-00-4612(通話料無料)

# 家計消費状況調査

## 調査票 A

(二人以上の世帯)

- 記入に当たっては『調査世帯のみなさまへ』などを参考にし、黒のボールペン又は鉛筆で記入してください。
- 選択肢に番号が付されている項目については、**当てはまるものの番号を○で囲んでください。**

◎「世帯」とは、住居と生計を共にする人の集まりをいいます。家族であっても、3か月以上、学業あるいは仕事の関係などで自宅を不在にしている方や、入院をしている方は、この調査でいう「あなたの世帯」の世帯員には含めないでください。

### ■ 1. あなたの世帯について

あなたの世帯の調査開始月の15日の状況についてお答えください。

(1) 世帯主の男女の別（「世帯主」とは、家計の主たる収入を得ている人をいいます）

1 男	2 女
-----	-----

(2) 世帯主の年齢

	歳
--	---

(3) 世帯主の就業・非就業の別

（ふだんパートタイムやアルバイト、内職をしている方は「**就業**」とします）

1 就業	2 非就業
------	-------

「1 就業」と答えた方は、(4)へ、「2 非就業」と答えた方は、**次ページ(6)**へ進んでください

(4) 世帯主の勤めか自営かの別

1 雇用されている人
2 会社などの役員
3 自営業主・その他

「2 会社などの役員」「3 自営業主・その他」と答えた方は、**次ページ(6)**へ進んでください

（「自営業主・その他」とは、個人で事業を営んでいる人（農家などを含む）や自由業の人などをいいます）

「1 雇用されている人」と答えた方のみ**(5)**へ進んでください

(5) 勤め先の企業全体の従業者数

1 1人～4人	2 5人～9人	3 10人～29人
4 30人～99人	5 100人以上	6 官公

（労働者派遣事業所の派遣社員の方は、**派遣先**の企業全体の従業者数をお答えください）

次ページへ進んでください

(6) 世帯主の配偶者の有無

1 有	2 無
-----	-----

「2 無」と答えた方は(8)へ  
進んでください

(7) 世帯主の配偶者の就業・非就業の別

1 就業	2 非就業
------	-------

〔ふだんパートタイムやアルバイト、内職を  
している方は「**就業**」とします〕

(8) 年齢別世帯員の人数 (記入者を含む**世帯全体の状況**を記入してください)

	19歳以下	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上
世帯員数	人	人	人	人
世帯員のうち 就業者の数	人	人	人	人
世帯員のうち 在学者の数	人	人	人	人

※学業や仕事の関係、又は入院などで3か月以上自宅に不在の方は、**含めない**でください  
※**就業者**には、ふだんパートタイムやアルバイト、内職をしている方も含みます  
※**在学者**には、3歳未満の保育園児、予備校生、遊学中の学生・生徒は**含めない**でください  
※ふだん**アルバイト**をしている**在学者**は、**就業者及び在学者のそれぞれに含めます**

(9) 世帯全体の年間収入 (過去1年間の**税込み**の収入総額)

1 100万円未満	8 700万円 ～ 800万円未満
2 100万円 ～ 200万円未満	9 800万円 ～ 900万円未満
3 200万円 ～ 300万円未満	10 900万円 ～ 1000万円未満
4 300万円 ～ 400万円未満	11 1000万円 ～ 1250万円未満
5 400万円 ～ 500万円未満	12 1250万円 ～ 1500万円未満
6 500万円 ～ 600万円未満	13 1500万円 ～ 2000万円未満
7 600万円 ～ 700万円未満	14 2000万円以上

(10) 住居の種類

1 持ち家	4 民営の賃貸住宅
2 都道府県・市区町村営の賃貸住宅	5 給与住宅 (社宅・公務員住宅など)
3 都市再生機構・公社などの賃貸住宅	6 その他

(11) 住宅ローンの有無

1 有	2 無
-----	-----

## ■ 2. 電子マネーの利用状況について

あなたの世帯における電子マネーの利用状況についてお答えください。

- ここでの「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引き換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカードなど（次の例を参照）の利用をいいます。  
例) Suica、PiTaPa（チャージ利用分のみ）、PASMO、nanaco、WAON、Edy、WebMoney、BitCash、クオカード
- なお、ここでの「電子マネーの利用」には、キャッシュカード、クレジットカード、デビットカードの利用や後払い（ポストペイ）方式のICカードなどの利用は**含めない**てください。  
また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカードなどの利用も含めないてください。
- 事業を営んでいる世帯で、事業で利用したものは含めないてください。

(1) 電子マネーを持っている方がいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

① 何人の方が持っていますか。

	人
--	---

「2 いない」と答えた方は次ページ「■ 3. インターネットを利用した購入状況について」へ進んでください

(2) 今月1か月間（1日～末日）に電子マネーを利用した方がいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

① 世帯全体では、利用金額はおよそいくらでしたか。

十	万	千	百	十	一
				0	0

円

【※電子マネーの利用が**すべて**対象となります  
※百円単位で記入してください】

② 利用金額のうち、鉄道及びバスでの利用金額はいくらでしたか。

十	万	千	百	十	一

円

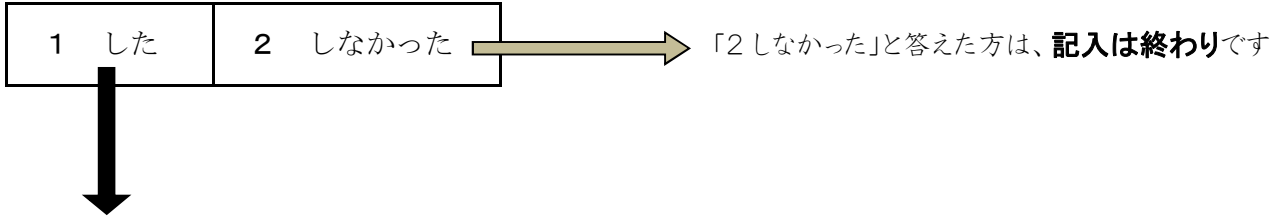
【※**交通機関**で利用できるICカード（Suica など）が対象となります  
※定期券を購入した分は**除いて**ください  
※利用がなかった場合は、「0」を記入してください】

次ページへ進んでください

### ■ 3. インターネットを利用した購入状況について

(1) あなたの世帯では、今月1か月間(1日～末日)に、インターネットを利用して商品・サービスを購入しましたか。(インターネットを情報収集のみに利用した場合は**含めない**てください)

- スマートフォン・携帯電話・タブレット型端末などからの利用も含まれます。



(2) インターネットを利用して購入した方別に、インターネットを利用して商品・サービスを購入した際の、今月1か月間の購入金額(消費税込み)及び**最も多く**購入に使用した機器を記入してください。

- 購入金額の合計は、調査票B「■ 3. インターネットを利用した商品・サービスの購入金額」の(2)の購入金額の合計と一致します。
- 購入金額の記入に当たっては、支払明細書やネット上の購入履歴を参照してください。
- 送料は除きます。(ただし、送料を除けない場合は、送料込みの購入金額を記入してください)
- 事業を営んでいる世帯で、事業用に購入したものは購入金額には含めないでください。

	購入金額	最も多く購入に使用した機器
世帯主	円	1 パソコン(家族所有) 2 パソコン(家族所有以外。公共スペースに置いてあるものなど) 3 スマートフォン・携帯電話(PHSを含む) 4 タブレット型端末 5 その他(インターネットに接続できるテレビ、家庭用ゲーム機など)
世帯主の配偶者	円	1 パソコン(家族所有) 2 パソコン(家族所有以外。公共スペースに置いてあるものなど) 3 スマートフォン・携帯電話(PHSを含む) 4 タブレット型端末 5 その他(インターネットに接続できるテレビ、家庭用ゲーム機など)
その他の世帯員(合計)	円	1 パソコン(家族所有) 2 パソコン(家族所有以外。公共スペースに置いてあるものなど) 3 スマートフォン・携帯電話(PHSを含む) 4 タブレット型端末 5 その他(インターネットに接続できるテレビ、家庭用ゲーム機など)
世帯合計	円	

〔購入金額の合計は、調査票B「■ 3. インターネットを利用した商品・サービスの購入金額」の(2)の購入金額の合計と**一致**します。〕

ご協力ありがとうございました。記入もれがないかももう一度確認をお願いいたします。

通信欄(お気付きの点がありましたら、ご記入ください)